

現俳協・評議員

現代俳句3人3句選アンケート

句別ランキング (2点以上)

2025年8～9月実施

順位	選句	作者	選句数
1	じゃんけんで負けて蚩に生まれたの	池田澄子	11
	戦争が廊下の奥に立つてゐた	渡邊白泉	11
3	おおかみに蟹が一つ付いていた	金子兜太	8
	梅咲いて庭中に青鮫が来ている	金子兜太	8
5	蝶墜ちて大音響の結氷期	富澤赤黄男	7
6	彎曲し火傷し爆心地のマラソン	金子兜太	4
	銀行員等朝より螢光す鳥賊のごとく	金子兜太	4
	人体冷えて東北白い花盛り	金子兜太	4
	広島や卵食ふ時口ひらく	西東三鬼	4
	あやまちはくりかへします秋の暮	三橋敏雄	4
	音楽漂う岸侵しゆく蛇の飢	赤尾兜子	4
	暗闇の眼玉濡さず泳ぐなり	鈴木六林男	4
13	頭の中で白い夏野となつてゐる	高屋窓秋	3
	八月の赤子はいまも宙を蹴る	宇多喜代子	3
	泥かぶるたびに角組み光る蘆	高野ムツオ	3
	少年来る無心に充分に刺すために	阿部完市	3
	国家よりワタクシ大事さくらんば	撮津幸彦	3
	遺品あり岩波文庫『阿部一族』	鈴木六林男	3
	水枕ガバリと寒い海がある	西東三鬼	3
19	黒人街狂女が曳きずる半死の亀	野ざらし延男	2
	鉛筆の遺書ならば忘れ易からむ	林田紀音夫	2
	息白く唄ふガス室までの距離	堀田季何	2
	車にも仰臥という死春の月	高野ムツオ	2
	身をそらす虹の/絶巓/処刑台	高柳重信	2
	祈るべき天とおもえど天の病む	石牟礼道子	2
	陽炎より手が出て握り飯掴む	高野ムツオ	2
	天地上も淋しからんに燕子花	鈴木六林男	2
	雉子の眸のかうかうとして売られけり	加藤楸邨	2
	白梅や天没地没虚空没	永田耕衣	2
	人類に空爆のある雑煮かな	関悦史	2
	火の奥に牡丹崩るるさまを見つ	加藤楸邨	2
	露地裏を夜汽車と思ふ金魚かな	撮津幸彦	2
	船焼き捨てし/船長は//泳ぐかな	高柳重信	2
	たてよこに富士伸びてゐる夏野かな	桂 信子	2
	たんぽぽのぽぽのあたりが火事ですよ	坪内稔典	2
	三月の甘納豆のうふふふふ	坪内稔典	2
	算術の少年しのび泣けり夏	西東三鬼	2
	落書に芽の出るような妻と十年	田原千暉	2